



マネー教室

今回のテーマ 保険について

英国に住んでいると、保険などの手配をついつい後回しにしがちです。今回は、万が一のときにご自身とご家族の生活を守る生命保険、疾病保険、生活保障保険について検討してみましょう。

渡英前に加入していた日本の生命保険にまだ加入中です。長い間英国にいるつもりなので、これを解約して英国の保険に加入し直した方が良いでしょうか。

まず、給与は英国にてポンドで受け取っていると思いますので、長期契約となる生命保険の保険料を、収入の生じない円で支払うのは負担がかかります。また保険金も円で受け取ることになりますので、ポンドのローン返済などに充当する場合は申請時に為替リスクを伴います。加えて、日本の生命保険は医療保険と重なる商品が多いようです。例えば、死亡保険には1日1万円などの入院給付金が付いている場合があります。英国では、基本的に病気の治療には入院も含めて国民医療制度 (NHS) が提供しますし、会社が医療保険を提供している場合には、治療費に入院費も含まれますので、必要のない特約分の保険料を支払っていることとなります。まずは社会福祉金や会社の福利厚生制度から提供されている保障を確認し、その不足分を対象とした保険金を算出、その上で日本と英国の保険料を比較するのが適切と思われます。

定期保険と終身保険のどちらが良いのですか。

英国では、住宅ローンを返済中に死亡した場合や重病にかかったとき、またはお子様が成人するまでなど、最低限必要な保障を必要期間のみ保険でカバーすることが多く、掛け捨て型の定期保険が一般的に利用されています。また年金受給者の場合、本人が死亡する際は設定により配偶者が年金を受け取れるようになるので、特に死亡保険金は必要ないということになります。更に保険料も定期保険の方がはるかに安いですし、満期まで一定に保証されています。終身保険の保険料は、一生保障の場合は保険料が定期保険よりはるかに高く、10年ごとの見直しとしますと、その際に保険料が急上昇し、最終的に保険を継続できなくなる場合が少なくありません。

保険料比較

(保険金20万ポンド(約3700万円)の生命保険における毎月の保険料)

保険開始年齢	定期保険 (66年)	終身保険
35歳	£15	£80
45歳	£25	£140

男性、非喫煙者。保険料は一定保証。解約返戻金なし。
Sources: Avelo Exchange 2014年11月10日付

掛け捨て型の保険は返戻金がないですね。

終身保険には返戻金はあるものの、払った保険料が100%戻ってくることはほぼありません。また上記に示した保険料の差額に注目してください。定期保険加入により節約できる保険料を貯蓄・運用することで、返戻金の代わりになるかもしれません。

一人暮らしです。万が一病気で長期間働けなくなったらどうなるか心配です。そのような事態に対処するための保険はありますか。

生活保障保険 (Income Protection) がそれに該当します。病気やケガによりご自分の仕事が継続不可能になった場合、一定の「待ち期間」の後、毎月の生活費が保険金として支払われるというものです。この保険金は、①回復して仕事に復帰するまで、②保障期間終了まで、③死亡時まで、のいずれか早い時期まで継続的に支払われま

す。更に保険金は、保険料を払っていれば保障期間中に何回でも請求できます。例えば重病にかかり2年間保険金を受け取った後に回復、数年後に再発した場合でも、保険金を申請することが可能です。

「待ち期間」とは何ですか。

病気になって就労不可能になってから保険金を受け取るまでの期間のことで、「Deferred Period」と言います。この期間が短いと保険料が高く、長い方が安くなりますので、通常3カ月程度に設定することが多いです。会社にお勤めの方には通常「Company Sick Pay (会社の病欠手当て)」が提供されますので、まずはこちらを利用し、その後1、2カ月は貯蓄などでやりくり、それでも回復しない場合は保険でカバーします。

3大成人病をカバーする保険について教えてください。

疾病保険 (Critical Illness Assurance) という保険で、あらかじめ決定された疾病 (右記表参照) と診断された場合に保険金が支払われます。カバーされる病状や手術の種類は50を超え、診断後に症状が回復しても保険金は支払われます。この保険により、NHSが提供する治療を長時間待たなければならない場合や特別な治療を要する場合などに、保険金を使ってプライベート病院などですぐに治療を受けることが可能です。また、治療期間中の生活費の助けにもなりますね。がんなどの重病にかかってしまったときにお金の心配がないというのは、精神的に非常に楽だと思います。尚、疾病保険のみに加入するのではなく、生命保険の特約として疾病保険を付加するのが一般的です。保険金は死亡か疾病発生かどちらかが早く起こった場合に1回のみ支払われ、保険金支払いと同時にその保険は消滅します。

疾病保険は何歳まで利用できますか。

疾病保険は通常70歳までが最長保障期間となっています。またがんなどの疾病にかかる確率は、保障期間中に死亡する確率の5倍超と言われており、生命保険と比べて保険料がかなり高くなることに留意する必要があります。

日本の子供保険のように、死亡保障付きで入学金が出るような保険はありますか。

残念ながら、英国には類似した商品はないようです。保険は定期保険にて最も安い保険料で最大の保障を得られるものを選び、教育資金の積み立てはNISAなどの節税商品を使用して別々に積み立てるのが一般的です。ちなみに、子供保険の祝い金は毎月支払われる保険料を一部運用に回してキャッシュ・フローを組み替えたものですので、ご自分で教育資金の積み立てをするのと同じようなものです。

保険加入後、日本に帰国しても継続可能でしょうか。

保険会社の方針によりますが、死亡保険は通常、保険料を英国の銀行口座から継続して支払っている限りは継続可能な場合が多いです。疾病保険は継続可能な保険会

社もありますが、あまり多くありません。生活保障保険は病気であることを継続的に証明する必要があるため、英国の一般医 (GP) からの診断書の提出などが必要で、英国を出てから数年後は継続できない場合がほとんどです。

保険金に税金はかかりますか。

疾病保険や生活保障保険の保険金に対する所得税は通常非課税です。生命保険の死亡保険金はご本人の相続財産の一部として扱われますので、相続税対象となります。ただし、保険をトラスト (信託) に入れることにより相続税を回避することが可能です。このトラスト書類は保険会社が無料で提供している場合が多いですが、トラストの種類を検討する際には専門的な知識を要しますので、ご検討される場合は専門家にご相談されることをお勧めします。

疾病保険に含まれる病気・手術例

- Alzheimer's Disease アルツハイマー病
- Aorta Graft Surgery 大動脈移植手術
- Aplastic Anemia 再生不良性貧血
- Bacterial Meningitis 細菌性髄膜炎
- Benign Brain Tumour 良性脳腫瘍
- Blindness 失明
- Cancer がん
- Coma 昏睡
- Coronary Artery By-Pass Surgery 冠状動脈と他の動脈のバイパス手術
- Creutzfeldt-Jakob Disease 狂牛病 (人間に感染した)
- Dementia 認知症
- Deafness 聴覚障害
- Heart Attack 心臓麻痺
- Heart Valve Replacement or Repair 心臓弁置換術
- HIV/AIDS エイズ
- Kidney Failure 腎臓衰弱、障害、停止
- Loss of Limbs 手 (腕) 足の喪失
- Loss of Speech 言語障害
- Major Organ Transplant 主な臓器の移植
- Motor Neurone Disease 運動神経障害
- Multiple Sclerosis 多発性硬化症
- Paraplegia/Paralysis 対麻痺
- Parkinson's Disease パーキンソン病
- Stroke 脳卒中
- Third Degree Burns 第3レベルのやけど

※ 今回のマネー教室は2015年2月19日に掲載致します。本コラムのバックナンバーにつきましては、英国ニュースダイジェストのウェブサイト (www.news-digest.co.uk) をご参照ください。当コラムは2014年11月時点の法制と税制に基づき一般的なガイダンスのために作成されており、皆様のご理解を深めるために内容を簡素化してある場合もあります。専門家の助言なしに記載情報にのみ基づき行動することはお控えください。その場合、筆者は一切責任を負いません。

お金に関する質問受付中!

このコラムで取り上げて欲しいトピックやご質問などを随時受け付けています。ご要望などがありましたら、以下のメールアドレスまでどしどしお寄せください。

editorial@news-digest.co.uk

※件名に「マネー教室」とご記載ください。

和枝 ドゥルーリー Dip.PFS

日本人ファイナンシャルアドバイザー (FA)。十数年間の米英系投資銀行勤務を経て、FAとして独立。日英両方の資格を有する。大手独立系FA会社に所属。
e-mail: info@kazuedrury-ifa.co.uk
URL: www.kazuedrury-ifa.co.uk

Lighthouse Financial Initiatives Ltd is an appointed representative of Lighthouse Advisory Services Ltd.